

夏の砂浜を彩る無数のともし火 第10回キャンドルコンサートin象潟

8月3日、象潟海水浴場で象潟地区地域振興協議会主催の第10回キャンドルコンサートin象潟が行われました。ジャングルキッズや超神ネイガショー、まちあわせまつりっこガールズライブなどが披露され、砂浜は徐々に幻想的な雰囲気へ。そしてクライマックスのなまはげ太鼓・音打屋の太鼓パフォーマンスで会場のボルテージは最高潮となりました。



▲幻想的な砂浜でのライブパフォーマンスは最高！

魅力的な歌声が潮風公園に響く 夢の祭典in潮風

8月15日、潮風公園で夢の祭典in潮風が開催されました。多くの出店が並ぶなか、ステージパフォーマンスではダンスショーやよさこい、三味線の生演奏で盛り上がり、トリを飾ったのは本市出身のマスムラエミコさんの秋田凱旋ライブ！仁賀保太極拳協会とダンスグループONE ROUTEとのコラボに、会場は“にかほ愛”の一体感に包まれました。



▲オリジナルの楽曲を披露するマスムラエミコさん

電気の仕組みを学んでみよう エレクトロニクス体験教室

8月2日、TDK歴史みらい館で夏休み恒例のエレクトロニクス体験教室が開催されました。平成19年に始まり今年で18年目になる本教室はこれまで約4,500人の児童が参加。TDK技術部門OBが先生になり、学校では体験できない“はんだづけ”を教わりながら、この日は災害時に役立つ多機能の「エマージェンシーラジオ」を作成しました。



▲難しいところは先生と一緒に進めました

お盆の夜は番楽で一興 鳥海山麓の番楽舞

8月13日から20日にかけて、小滝地区・横岡地区・釜ヶ台地区で鳥海山麓の番楽舞のお盆公演が行われました。悠久の時を経て地域に伝承されてきた舞を見ようと、どの会場も地元の人々や帰省客で大賑わい。勇壮な武士舞や獅子舞、コミカルな動きの滑稽な舞など、保存会の皆さんはこの日のために練習してきたさまざまな舞を披露していました。



▲鳥海山小滝番楽のトリは体力勝負の「空白舞」！

鉄人が駆け抜ける夏 第35回秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会

7月20日、第35回秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会・第25回トライアスロン芭蕉レースジュニア大会が開催されました。例年になく快晴に恵まれたこの日、全国から118人のアスリートが集結。多くのボランティアや観客が歓声を送るなか、スイム1.5km・バイク40km・ラン10kmを己の限界にチャレンジしながら精一杯駆け抜けました。



▲象潟海水浴場でのスイムを終え、バイクに向かう選手

「多作多捨」の大切さについて講演 第41回奥の細道象潟全国俳句大会

8月2日、象潟公会堂にて第41回奥の細道象潟全国俳句大会が開催されました。今大会では「玉藻」主宰、国際俳句協会会長である星野高士さんによる選評と講演会、表彰式が行われました。星野さんは講演の中で俳句における「多作多捨」の重要性を語り、多くの参加者が時にうなずき、時に笑いながら熱心に聞き入っていました。



▲子どもの部表彰者と星野高士さん(下段中央)

どんな生き物がいるのかな！？ 田んぼの生き物を調査しよう！

7月19日、冬師地区でキッズユートリック、浜っ子くらぶ、友遊くらぶの児童29人が、田んぼの生き物を調査しました。鳥海山・飛島ジオパークの연구원・長船裕紀さんと秋田県立大学生物資源科学部准教授・近藤正さんが先生になって調査スタート。田んぼの用水路を網ですくうと、どじょうや貝、ゲンゴロウなどさまざまな生き物が獲れました。



▲生態系保護のため、生き物は調査後に元の用水路に戻しました

CM制作を通してリーダーについて学ぶ 第14回中学生リーダー研修会

7月31日と8月1日の2日間、市内中学生と宮城県松島町の中学生による第14回中学生リーダー研修会が行われました。今回は秋田市の映像制作会社の社長を講師に招き「リーダー」をテーマにCM制作を体験。生徒たちは講師にアドバイスを受けながらiPadで撮影編集しCMを制作。様々な面でスキルアップできる実りある研修会となったようでした。



▲iPadでCMの編集作業をする生徒たち